

令和2年度第1回城島生涯学習センター運営委員会議事要旨

日時	令和2年9月2日(水) 10時00分～11時00分
場所	久留米市城島総合文化センター研修室2
出席者	市川委員長、小野副委員長、重松委員、佐藤委員、納戸委員、千代島委員、吉崎委員、池口委員、久木原委員
欠席者	境委員、檜橋委員
事務局	澁田課長、乙丸事務主査、中野社会教育指導員
傍聴者	なし

次第	内容等	
1～4	進行：事務局	1. 開会 2. 運営委員長あいさつ 3. 文化スポーツ課長あいさつ 4. 辞令交付
5. 議題	進行：委員長	(1) 令和元(平成31)年度久留米市城島生涯学習センター事業報告 (2) 令和元(平成31)年度久留米市城島総合文化センター事業報告 【(1)及び(2)については、関連事項として一括審議】
	事務局	－説明－ ■質疑なし
	進行：委員長	(3) 令和2年度久留米市城島生涯学習センター事業計画 (4) 令和2年度久留米市城島総合文化センター事業計画 【(3)及び(4)については、関連事項として一括審議】
	事務局	－説明－
	委員	在宅カレッジは城島生涯学習センターコースで51名、城島ふれあいセンターコースで21名の応募があったと説明を受けたが、それぞれ10月から3月まで全てを受講しなければならないのか。
	事務局	在宅カレッジはそれぞれのコースで、10月から3月まで合計6回の連続講座となっている。
	委員	今回の事業は実費負担がこれまでの事業よりも多いと感じるが、それでも多くの申し込みがあっているということか。
	事務局	送付する材料代に費用が掛かることから、今回の実費負担額を設定している。なお、多く的人数により実施することで、通常負担額からの軽減を図ることができた。
6. その他	進行：委員長	令和元(平成31)年度城島総合文化センター年報について
	事務局	－説明－
	委員長	城島総合文化センターにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応状況は。
	事務局	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、久留米市新型コロナウイルス対策本部方針に基づき、城島総合文化センターでは利用定員の制限を行っている。具体的には、インガットホールは定員の2分の1以下となる266名、イベントホールは35名などとなっている。
	委員長	自主事業は入場者が減れば負担が増すこととなる。年度当初計画事業の中でも中止した事業もあるが、事業を実施すれば赤字が拡大することも考えられる。予算が足らなくなることはないか。
	事務局	使用定員が半分以下となっており収入は減少するが、公演委託料の大幅な減額はなく年間収支は大きな課題であると認識している。 上半期は事業を中止し、下半期から事業を実施することとなるが、今後新型コロナウイルス感染症が再拡大することも想定しておかなければならない。こうした認識のもと、予算の範囲内で慎重に事業実施の検討を進めていきたい。
	委員長	生涯学習センター主催事業「生ごみが堆肥に大変身！」は市民の関心も高い分野であると思う。募集定員が10名となっているが拡大できないか。

事務局	使用予定部屋の定員の関係で10名を募集定員としているが、使用する部屋を変更すれば募集定員を拡大することは可能である。意見を踏まえ、再度検討したい。
委員長	久留米市内には類似施設があり、定数に満たないよりも一定お断りしなければならぬような城島独自の特色ある講座や人気講座を取り入れてもらいたい。
事務局	今年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、思い通りの講座実施が組めていないが、次年度事業では今回のご意見やこれまで実施してきた講座アンケートでのニーズなどを踏まえて検討していきたい。
委員	インガットホール利用は定員の半分以下の266名となっており、来年1月の城島地域成人式実施で悩んでいる。今後相談したい。
事務局	先日、城島地域内校区事務局長と事前の意見交換を行った。成人式についてはインガットホールを利用したいと要望があった。 現時点で来年1月の実施内容を見通すには至らないが、引き続き、成人式実行委員会と協議、情報共有を進め、開催に向けた支援を行っていきたい。
委員	今年3月にインガットホールを利用して事業実施を考えていたが、開催直前で臨時休館となった。現在は使用定員の目安が設けられているが、来年3月も同事業の実施を予定しており、多くの入場者があるため、入場の仕方も工夫しなければならないと考えている。 その際、また今年3月のような状況が発生することはあり得るか。
事務局	現段階で、来年3月の状況を見通すことはできないが、可能性としては0ではないと考えている。
7. 閉会	副委員長 閉会あいさつ